

日 時：2011/11/24 18：00～20：00

対 象 町 名：門脇字（浦屋敷）

総参加者数：257名（参加地権者数：215名／325名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（30分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（90分程度）

- ・事業はいつ頃からか？

⇒国の予算が通って、市が予算化する手順になるが、まだ予算は確保されていない。
年末か年明けになると思うので、事業化にはもう少し時間がかかる。

- ・先に他で探して生活している人はどうなるのか？

⇒市で用意した場所に移転する方は分譲もしくは借地となりますが、自ら移転された方は対象外になりますので、国へ何らかの支援が出来ないか要望しています。

- ・工業（産業）ゾーンの地価をどのようにするのか？

⇒工業（産業）ゾーンの住宅については基本、市で買収しますが、評価については鑑定を実施し相談をさせていただきます。

- ・11月17日の河北新報で仙台は、宅地の嵩上げの助成、借地料の免除などの考え方が掲載されていたが、石巻市の考えは？同じ復興事業と考えれば同じではないのか？

⇒防災集団移転促進事業についての支援は同じです。その他については、仙台市の独自支援になります。

- ・赤の線（矢本流留線、高盛土道路）が2本あるが、2本ともに高盛土道路か？

⇒高盛土道路は、海側の赤の線なので、1本です。

- ・産業ゾーンのみが防災集団移転促進事業か？

⇒産業ゾーンと高盛土道路の方が対象になります。ただし、現在使用しているベース図（現況）は、震災後の航空写真などにより作図されています。地盤が変動しているため、正確な図面は測量することになります。

- ・住居ゾーンは地盤沈下しているため、雨が降ると宅地に水が溜まり、住みにくい。そんな所に家を建てられない。

⇒今までは、ポンプ 1 ヶ所で排水をしていましたが、概ね釜・大街道地区を 3 ブロックに分けて、ポンプを 3 ヶ所設置して排水するように検討をしています。
- ・生活再建支援制度について、37 ヶ月以内の再建は無理。

⇒国へ延伸してもらえるように要望をしています。
- ・利子補給は全員が対象になるのか？

⇒高盛土道路や産業系ゾーンのように止むを得ず移転の方が対象となります。住居系ゾーンのように現在の位置で再建が可能な方は対象外です。
- ・前の計画図とほとんど変わっていないが、高盛土道路の位置は津波シミュレーションで決めたのか？

⇒国、大学の先生方と相談しながら津波シミュレーションを何回も行った結果、守れる位置としました。
- ・工業港と高盛土道路の所が狭いが大丈夫なのか？

⇒工業港の所は、防波堤で防御してから工業港に津波が入ってくる想定ですので、工業港と高盛土道路の所は狭くても守れる結果となりました。
- ・工業港の所は、一番高い津波が来た所であるか？

⇒今回の津波では約 5m でした。高盛土道路は 5.0m、防潮堤は 3.5m で計画しており、防波堤で衝撃を少なくすることで、守れる結果となりました。
- ・耕作をしているが継続することは可能か？

⇒農地を継続して頂くことは可能です。
- ・産業ゾーンでは、農地でも買ってくれるのか？

⇒希望があれば買収します。単価については国からの提示がありませんので、今後、相談させていただきます。
- ・今後、個別に相談をお願いします。
- ・19 日の基本計画（素案）に関する意見交換会にも出席し、基本的な考え方は決まりなのかと質問したら、「詳細は 24 日からの説明会で説明します」と言われた。今日、提示された整備計画図で決定か？変更はあるのか？

⇒堤防はお願い、まちづくりは意見を聞きながらと言うのが 19 日の回答だったと思います。区画整理事業は同意などに時間を要するため、みなさまの意見を聞きながら進めたいと思います。
- ・今日、出席している半分以上の方々が小さい家だと思うので区画整理事業は理解しが

たい。土地を多く持っている方なら良いと思う。

- ・産業ゾーンの面積が大きい。
⇒石巻港の活性化のため、貨物船の入港などを検討しており、トラックターミナルなど、石巻港のバックヤードとして考えていますのでご理解下さい。
- ・高盛土道路を南側にしたらどうか。今の計画線上には住んでいる人や、持家が多い。
⇒現在でも一定の条件であれば建築は可能であるが、今回の震災で約 4 千人もの方々が行方不明になったり、亡くなった。建てられるなら建てるではなく、高盛土道路などの整備を行い、次世代のためにも災害に強い安全なまちづくりをしたいと思っています。
- ・自分の住んでいるまちに戻りたいと思っている人も居ると言うことを忘れないで下さい。

- ・高盛土道路を整備する時期は？
- ・矢本流留線の整備目標は？
⇒平成 27 年度を目標としています。しかし、用地買収を行って進めていくので、皆様の協力によって時期が延びることもあります。
- ・西側（東松島）はどうなるのか？
⇒橋梁を架ける関係上県との協議が必要になります。また、線形については東松島市と協議中です。

- ・高盛土道路の幅員 20mは三陸道などで想像できるが、交通量が増えることによる騒音など住む人の環境を考慮しているのか？
⇒高盛土道路の道路幅員は 25mで、法尻は 40～50mになります。高盛土道路の住居系ゾーン側に緩衝緑地を設置する予定です。
- ・防音壁等の設置はしてくれいなのか？
⇒緩衝緑地とするのか、防音壁にするのかななどの詳細の検討は今後行っていきます。
- ・今日、提示している図面を何故配らないのか？
⇒今日、提示している図面は測量などを行っていないため、確定はしていません。相談窓口を設置する予定なので、その時にお見せする事が出来ると思いますが、配布出来るか検討します。
- ・自分達は 10 年、20 年後の計画を考えなければいけない。図面が無いと家族とも相談することが出来ない。
- ・県知事は浸水域には住ませないと言っていたが、守れば住んで良いのか？国の方針が変わったらこの絵も変わるのか？
⇒今日、提示した整備計画図で進めたい。
- ・政権や県知事が変わったとしてもか？
⇒石巻市としては、今日、提示した整備計画図で進めたい。

- 具体の今後の説明会は？
⇒今日は、骨格を示した。事業を進めていく上で意向調査を実施して、地区別の説明会を開催するよう考えている。
- 住めるか、どうかを一番気にして8ヶ月待った。
⇒今日、説明した方法で進めたいと思います。

以上